



WINTER EVENT

イベント・年中行事

鬼フェス in 吉野山

「福は内、鬼も内」金峯山寺節分会

吉野山金峯山寺の節分会に合わせて、「鬼フェス in 吉野山」が1月19日から2月11日の期間で実施されました。吉野山観光協会主催のこのイベントは、鬼が各旅館等を回り、客室を訪れる「鬼の宿泊体験プラン」や、柿の葉寿司作り・葛餅作りなどの体験、飲食店や土産物店が特別メニューを提供する「鬼バル」、歌手などのアーティストによるミニライブが行われるなど、趣向を凝らした内容で行われました。また、期間中の週末にはフェイスペインティングが無料で行われ、多くの観光客がいつもと違う自分で鬼フェスの気分を味わっていました。

節分前日の2日の夜には、鬼歩きも行われ、吉野山の通りを歩く鬼の姿に、子どもたちは歓声を上げていました。



フェイスペインティングの後、鬼バルメニューを楽しむお客様

3日には、金峯山寺の節分会が行われ、大護摩供、鬼の調伏式、福豆まき、大抽選会が行われました。金峯山寺の鬼の調伏式は、全国から追われてきた鬼を迎え入れようとする、全国でも珍しい節分会の行事です。今年は日曜日と重なったこともあり、例年にも増してたくさんの参拝者が福を授かろうと訪れました。

また9日の夕方からは、吉野ビジターズビューロー主催の「鬼の夜会」が行われました。これは、「福は内、鬼も内」と唱える鬼の調伏式にちなんで、県内の寺社から鬼が集結し、吉野山の町なかを練り歩くもので、奈良の興福寺や桜井の長谷寺などから多くの鬼が集い、各寺社の節分会の様子が紹介されました。



TOWN OF WOOD

木のまち よしの

RCRアーキテクト展

「夢のジオグラフィー」 東京・乃木坂で開催中

RCRアーキテクトは、ラファエル・アラング氏、カルマ・ピジェム氏、ラモン・ヴィラルタ氏の3名で構成する建築スタジオで、スペイン・カタルーニャを拠点に活動しており、プリツカー建築賞をはじめ、カタルーニャ州政府による建築文化賞、フランス芸術文化勲章オフィシエなどを受賞している世界的建築家です。

この度、開催された「RCRアーキテクト展 夢のジオグラフィー」はRCRの3人の歩みと夢を表現したもので、展示には吉野の手すき和紙が使われているほか、吉野製材工業協同組合の協力を得てスペインに建設される予定のパビリオンの一部などがあります。また吉野の木の文化に関する映像も放映されており、「吉野」が満載の内容です。

3人は2017年5月「吉野杉の家」に宿泊し、吉野の森林



© Nacása & Partners Inc.

(URL)<https://jp.toto.com/gallerma>

◀東京・乃木坂 TOTOギャラリー・間
展示会場

や貯木場、製材所、手すき和紙・割り箸工場などを視察。吉野材の成長や手入れ、建築材料への加工などを知り、大工・木工技術の繊細さや偉大な建築物を建てることができる木材、紙のような繊細なものを生み出す樹木、それらを守り繋ぐ人々など、「吉野には特別な材料を生み出す能力がある」と感銘を受け、今回の展示会の開催に至りました。

展示会では、彼らが数年かけて計画しているプロジェクト「ラ・ヴィラ」と吉野との融合もテーマに展開され、「木のある暮らし」を進めている吉野町にとっても、吉野材の認知拡大、付加価値の向上はもとより、木の文化の発信やインバウンド誘致など、大きな効果が期待されます。

東京・乃木坂 TOTOギャラリー・間で3月24日まで開催されています。お近くへ行かれる際はぜひお寄りください。

